

志力の通信

Sakao

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～ 「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さかそう通信16号、今回は①前回(といっても去年末)の議会での私の「一般質問」について ②「大阪都構想」についてを中心にお送りします

一般質問

「住民センターについて」

去年の12月の議会的一般質問にて私は今まで何度も議論してきます阪南市の「住民センター」について、今回はこれだけに絞り込んで質問いたしました。その問題点を4つ。

(1) 避難所

43カ所のうち、36カ所が避難所指定。うち22カ所は耐震化していません。

(2) 老朽化

43カ所のうち、32カ所、約7.5割が築30年を越え老朽化が進んでいます。

(3) 運営管理

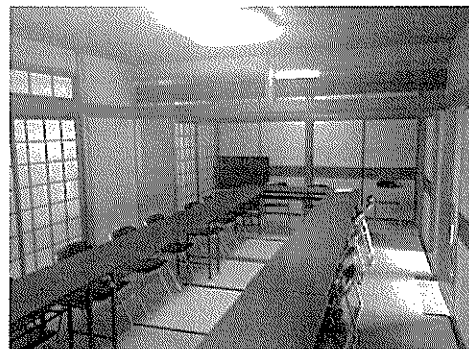
現在は各地域自治会の指定管理にはなっているものの、基本的には阪南市の管理下に置かれています。大阪府下で市町村が地域集会所を公共施設として設置しているのは摂津市、忠岡町、田尻町、阪南市の4団体だけ。他は地域自治会が維持管理主体となっています。

(4) 利用用途

昔はお葬式や法事で

利用もされていましたが、最近ではほとんどなく、活用しようにも「住民センター条例」があまり自由に使えない。

では、議会での質疑答弁を紹介します。



して見直していく。

《質問》現在の利用状況や今後のニーズ、将来の在り方を考えると「阪南市立住民センター条例」改廃の必要があると思うがいかがか。

《市長答弁》人口減少、少子高齢化の中でも魅力ある地域社会の形成をめざし、条例の在り方を今回の制度設計の中で整理する。

《質問》例えば、地域で運営するサロン／画廊、店舗、事務所、学習塾、休憩所／SWCの歩く拠点／子育て支援施設、健康促進施設、文化交流施設／観光案内所、地域の物販施設／一般テナントの受け入れ、企業誘致／アンテナショップ、チャレンジショップ／漁業や農業の朝市／阪南コトトンプロジェクト情報基地など様々な利用が考えられるがいかがか。

《市長答弁》住民センターは今取り組んで方向性を明確にしていかなければ、大きな負の遺産になる。健康をテーマに財政状況も勘案し、一生懸命全身全霊で取り組んでいく。

《まとめ》住民センターは「今」、きつちり将来を見据え、地域で独自に活用できるように制度設計しなおすべきです。地域みんなで楽しく自分たちのことを考え、安全に、安心して、誇りをもって幸せに暮らせるように。

《質問》身近な集会所は、今老朽化などの問題はあるとしても、地域活性化の起爆剤になる。市のセールスポイントになると考えるがどうか。

《市長答弁》地域の状況に対応したものとして活用すればコミュニティ形成において大きなセールスポイントになる。整理しなければならない。

《質問》住民センターは建物管理するハード部分と運営するソフト部分、それぞれ市役所の担当課が違う。住民センターを活用した地域交流活性化にはまずそれらの一本化が必要と考えるがどうか。

《市長答弁》組織は時期と状況に対応

上甲誠ブログ 人こそ街ない



ほぼ毎日更新中！

<http://blog.zaq.ne.jp/macjoe2/>



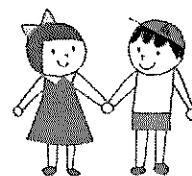
阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!

ご希望の方には
さかそう通信

郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ
お気軽に 上甲誠市政相談所へ



大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

大阪都構想と阪南市

さて、後半は「大阪都構想」について考えます。さかそう通信第11号でも触れさせていただきましたが、この4月に統一地方選挙（阪南市は大阪府議会議員選挙）があり、阪南市民の有権者皆さんがじっくり冷静に考えなくてはならない時期が来ますので、今のうちに勉強しておきたいと思います。

予めお断りさせていただきますが、私はどこの政党にも属さない「無所属」です。自民党にも維新の党にもどこにも属さず、地域の皆さんのお声をたくさんしっかりと聞いて是々非々で動いていきたいと考えています。

では大阪都構想について考えます。これは大阪府と大阪市の二重行政のムダを

阪南市議会「初」!

議員 ぎいんりっぽう 立法

この度、阪南市議会では
議員 16 人全員が協力し、
阪南市いのちの水を守る条例(案)
を策定いたしました。
現在パブリックコメントを実施中。

阪南市 議員立法

検索



なくそうと大阪維新の会が提案している改革です。そもそも二重行政がダメと言ったのは50年前の自民党だったということは前回述べました。住民投票も大阪市民だけですし、阪南市には関係ないのではないかと問われませんが、関係あります。

大阪府のムダ遣い

りんくうゲートタワービル（泉佐野）とワールドトレードセンター（南港）がよく例に挙げられますが、二重行政が競い合って開発・事業をすることで相当なムダが生じています。大阪「府市合わせ」による

ムダ遣いのうち、大阪府のムダ遣いは、阪南市民が納めている府税も含まれます。府税とは府民税、自動車税、不動産取得税、事業税等です。

大阪が改革するぞ?

今まで大阪市・大阪府が別々に考えていたことが全体的に考えられます。大阪府全体の将来のことを考えて、道路や鉄道、港湾や飛行場などのインフラの整備がされます。医療や福祉、教育や生涯学習も力充実するでしょう。二重行政でうっ血していた血流が



ドツと流れ出す。そんなイメージです。大阪が住民の力で改革をし、活性化し、発展していくということは、現在日本が掲げる「地方創生」「地方分権」のモデルタイプとして、日本全体を変えていけるかもしれません。

きっちり議論するぞ

自民党や民主党などは、道州制の足かせになる。
・大阪の力が弱くなる。
・二重行政ダメな事は分かっている。
など、では具体的にどうすれば良いという意見なく反対しています。議員は「ただ会議に出る人」でなく「議論する人」のほず。そもそも大阪都構想も出来ないのに道州制なんか出来るわけがありません。しっかりと大阪の将来のことを考え前向きに議論して欲しいものです。少なくとも我々住民はしっかりと子ども達の明るい将来を考え、未来の大阪を考えて行動しましょう。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲 誠を今後ともよろしくお願いします。